

学校名

狭山市立入間野中学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します。承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践

① 生徒会本部が主体となる生徒朝会（月1回）の際に、生徒会本部役員9名が「入間野中いじめゼロ宣言」を読み上げ、全校生徒への啓発を行っている。令和5年度は、体育館に全校生徒が集まった形の朝会を行うことができ、これまで以上に意識を高めることにつながった。

また、令和元年度に決定した「入間野中学校生徒会スマホとの向き合い方」も読み上げ、SNS等を通じた悪口や誹謗中傷を行わないよう啓発している。

「入間野中いじめゼロ宣言」及び「入間野中学校生徒会スマホとの向き合い方」については、生徒手帳にも記載され、いつでも確認できるようになっている。



② 令和3年度より生徒会全体で「SDGs」に関する活動に取り組んできた。今年度は、各専門委員会が「SDGs」に関する重点目標を立て、さらに活動が充実した。

生徒会本部では、生徒会新聞に「SDGs」紹介コーナーを設けた。「SDGs」の17の目標の中にある、「5. ジェンダー平等を実現しよう」「10. 人や国の不平等をなくそう」「16. 平和と公正をすべての人に」「17. パートナリシップで目標を達成しよう」など、安心して生活できる学校づくりに関連した目標への関心も高まりつつある。

来年度は、生徒会本部を中心に、生徒会全体でこういった目標に対して具体的な活動を考え、実践していきたい。

SDGs 紹介!

今回紹介するのは、10番の「人や国の不平等をなくそう」です。あまり具体的ではないので、わかりづらいかもしれませんが、「人種が違うからと言って差別をする」「国が違うからと言って差別をする」のをゆめぬ「といひでたて、私は思いません。世界では、今、こんな問題が起きています。国の中でも、都市部と農村部では、貧困率が3倍も違う」といふこと、私は思いません。世界では、今、こんな問題が起きています。国の中でも、都市部と農村部では、貧困率が3倍も違うと

いふこと
大変な時に社会保障が届かない人がいること
移民たちを守る政策がない国があること
アフリカなどでは、学校に通いだしても通えない子供が全体の子供の過半数を占めていること
出身国や肌の色など、様々な理由で人種差別がされていること

ですが、「こんなこと言われたら、私達は、何をすればいいんだ」と、思う人がほとんどだと思います。差別というのは、それぞれが見た目、考え方、得意なこと、苦手なことが違う

から起こるものだと思います。だから私は、それぞれが相手を認める・自分にはない相手の特技を見つけて褒める・自分がされて嫌なことば相手にしなさい、小さなことですが「お互いが、お互いを思いやっただ行動・発言」を意識して生活していくことで、少しずつ、世界平和につながっていくと思えます。

